


## 2004年度 第1四半期 決算説明会

富士写真フイルム株式会社

2004年7月30日

 本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの注意 業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

## 2004年度 第1四半期 連結業績

### 業績概要

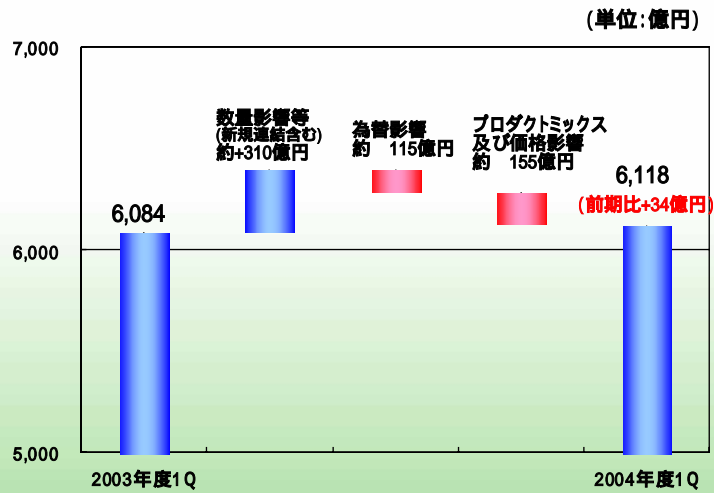
(単位:億円)

	2004年度 第1四半期		2003年度 第1四半期		増減	
	割合	金額	割合	金額	金額	%
国内	50.5%	3,091	51.9%	3,157	-66	-2.1
海外	49.5%	3,027	48.1%	2,927	+100	+3.4
売上高	100.0%	6,118	100.0%	6,084	+34	+0.5
営業利益	6.5%	399	7.7%	471	-72	-15.2
税引前利益	6.8%	413	7.8%	477	-64	-13.3
当期純利益	3.5%	215	3.8%	233	-18	-7.7
為替:米ドル		110円		119円		-9円
ユーロ		132円		133円		-1円

2004年度 第1四半期 連結業績



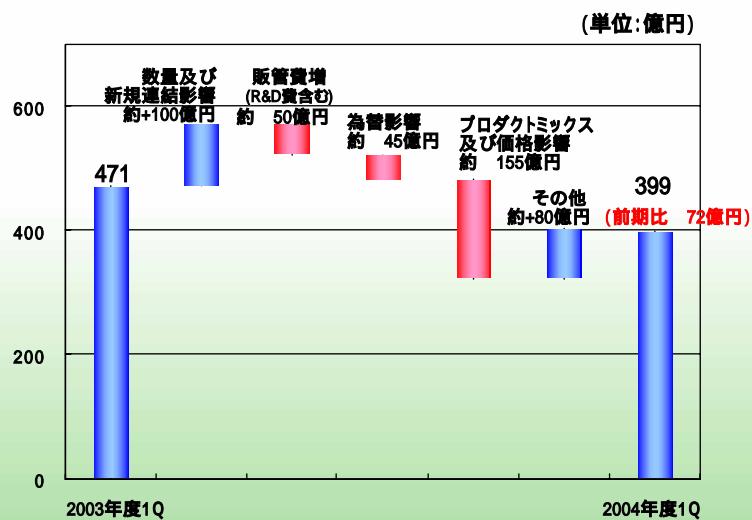
売上高増減要因



2004年度 第1四半期 連結業績



営業利益増減要因



## 2004年度 第1四半期 連結業績



### 事業別セグメント情報

(単位:億円)

	2004年度 第1四半期		2003年度 第1四半期		増減	
					金額	%
イメージング						
売上高		1,957		1,935	+22	+1.1
営業利益	4.3%	83	9.0%	173	-90	-52.0
インフォメーション						
売上高		1,810		1,836	-26	-1.4
営業利益	11.1%	200	7.9%	146	+54	+37.5
ドキュメント						
売上高		2,393		2,353	+40	+1.7
営業利益	4.8%	116	6.4%	151	-35	-23.3
消去						
売上高		-42		-40	-2	-
営業利益		0		1	-1	-
合計						
売上高		6,118		6,084	+34	+0.5
営業利益	6.5%	399	7.7%	471	-72	-15.2

連結売上高の構成



4

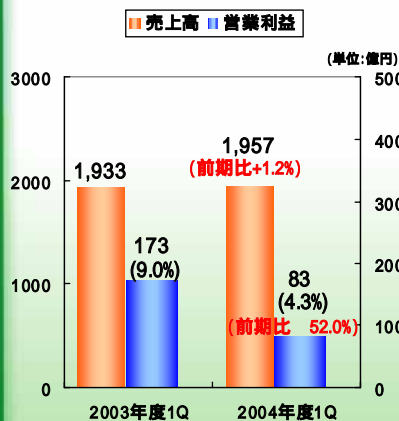
## 事業別セグメント情報



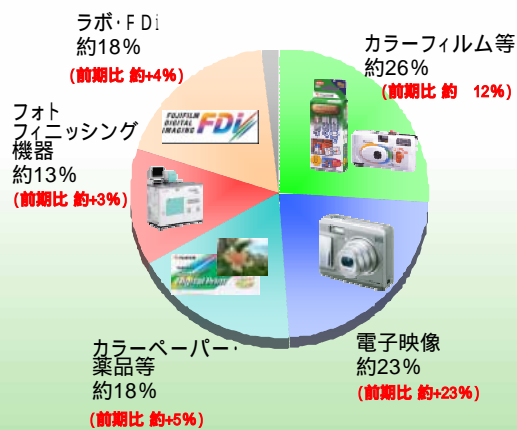
### イメージングソリューション

売上高・営業利益

売上構成比



\*セグメント間取引消去後

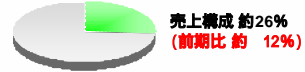


5

## 事業別セグメント情報

FUJIFILM

### カラーフィルム等



- 国内販売は数量ベースで、前期比 約18%減、海外は約5%減。
- 銀塩ならではの超高感度の特長を活かし、ノンフラッシュ撮影で自然な雰囲気の写真表現が可能な「ナチュラルフォト(NP)システム」NATURAを開発。(今秋、国内発売予定)

銀塩の特長を活かした新製品を国内で発売

銀塩写真システムによる新しい写真の魅力

超高彩度・鮮烈色リバーサルフィルム



NATURA S



NATURA 1600



フジクローム「fortia(フォルティア)」

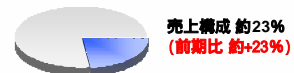
<数量限定発売>

6

## 事業別セグメント情報

FUJIFILM

### 電子映像



- 2004年4月、デジタルカメラの国内営業機能を集約し、マーケティング・販売促進・技術サービス等を強化。
- デジタルカメラ販売台数は前期比約14%増の約120万台。
- FinePix F440/F450を7月に発売開始、市場から高い評価。
- 携帯電話メーカーへのカメラモジュールの供給が拡大。

新製品

FinePix F450



FinePix F440



- 有効画素数: 520万画素(F450)、410万画素(F440)
- 約21mmの薄型ボディで光学3.4倍ズーム
- 大きく見やすい12.0型・15.4万画素液晶モニター搭載

第2四半期に続々と新製品を投入!



FinePix S3 Pro



FinePix E550



FinePix F810

7

## 事業別セグメント情報



### カラーペーパー・薬品等



売上構成 約18%  
(前期比 約+5%)

- デジカメプリント「お店プリント」キャンペーンを推進。
- 国内販売は数量ベースで、前期比約2%増、海外ではデジタルミニラボの販売増の効果等により約14%増加。(国内フロンティア店におけるデジカメプリント比率は、平均約23%まで上昇中。)

### フォトフィニッシング機器



売上構成 約13%  
(前期比 約+3%)

- デジタルミニラボの販売台数は、前期比約3割増の約2,500台。
- 北米を中心に海外でのデジタルミニラボの販売が引き続き好調に推移。

デジタルミニラボ ~ フロンティア ~

ライジング大作戦2004



「カンタン・キレイ・色あせない」をキャッチフレーズに、テレビCMでお店プリントの優位性を訴求。

テレビCM デジカメプリント



8

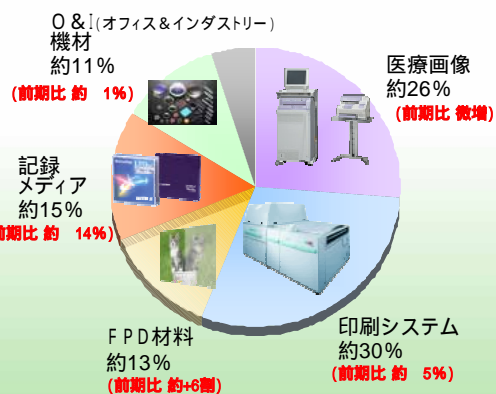
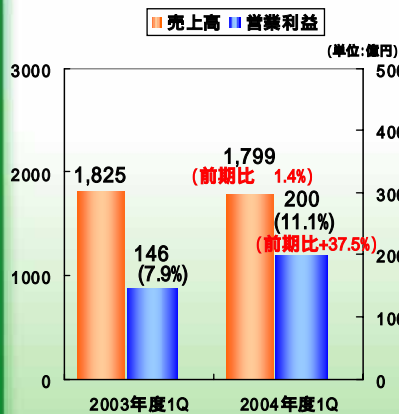
## 事業別セグメント情報



### インフォメーション ソリューション

売上高\*・営業利益

売上構成比



\*セグメント間取引消去後

9

## 事業別セグメント情報

FUJIFILM

### 医療画像



- 2004年4月、国内の医療機材販売会社を統合し、販売・サービス体制を強化。
- デジタルX線画像診断システム(FCR)の新製品効果もあり、販売が堅調。
- 内視鏡事業、順調にビジネスを拡大中。

#### デジタルX線画像診断システム



##### FCR PROTECT CS

- ▶ マンモグラフィ(乳房X線撮影)による乳がん検診に対応。
- ▶ 微小な病巣を鮮明に描写し、乳がんの早期発見をサポート。

#### 電子内視鏡



##### バルーン付電子小腸鏡

- ▶ 小腸の観察・処置を容易に。

10

## 事業別セグメント情報

FUJIFILM

### 印刷システム



- サーマルCTPプレート「HP-S」やフォトポリマーViolet CTPプレート「PN-V」など、CTP関連製品が販売好調。
- CTP・PSプレートの日本、米国、オランダ、中国でのグローバル四極生産体制を強化。

#### 富士フィルムのCTPプレート生産拠点



11

## 事業別セグメント情報

FUJIFILM

### フラットパネルディスプレイ材料



- FPD材料事業の売上は、前期比約6割増の約240億円。
- 富士フィルムオプトマテリアルズ(FOM)、生産能力を増強中、2004年8月、FOMにてフジタックの新工場が稼働開始予定。

FPD材料の生産拠点、富士フィルムオプトマテリアルズ



富士フィルムオプトマテリアルズ  
(静岡県吉田町)  
2004年4月、ISO 9001 & ISO 14001を  
同時取得。

12

## 事業別セグメント情報

FUJIFILM

### 記録メディア



- データストレージテープの競争激化する中、Super DLTtape™ と LTO Ultrium 2 が販売好調。
- ナノキュービック技術を採用した IBM TotalStorage® Enterprise Tape Drive 3592用データカートリッジ、順調に推移。
- DVDレコーダーの普及にあわせ、DVDメディアのラインアップを強化。
- 独自の有機合成技術を活かしたDVD色素ビジネスを開始。

DVDメディアの製品ラインアップ

for VIDEO



DVD-R



DVD-RW



DVD-RAM



DVD+RW

\* SuperDLTtape, SuperDLTiogo は、米国Quantum社の登録商標です。  
\* LTO, Ultrium は、Certance社、Hewlett-Packard社及びIBM社の米国及びその他の国における登録商標です。  
\* TotalStorage は、IBM Corp.の米国およびその他の国における登録商標です。

13

## 事業別セグメント情報

FUJIFILM

### オフィス&インダストリー機材



- カメラ付き携帯の高画素化に伴い、レンズユニットが好調。
- 中国・天津に新工場を建設し、カメラ付き携帯向けレンズの生産体制を強化。

FUJINON のプレジジョン・フォーカス搭載 放送用ハイビジョンレンズ

- 世界最大の放送機器展・NABショーで米国を代表する放送業界誌4誌から受賞。
- 世界最高倍率レンズ「DIGI POWER101」はアテネ五輪での使用が決定。



世界最広角ズームレンズ  
「DIGI POWER13」



世界最高倍率ズームレンズ  
「DIGI POWER101」

14

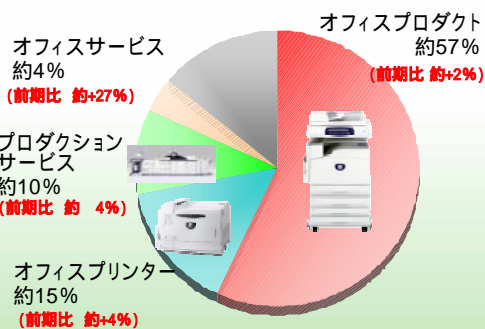
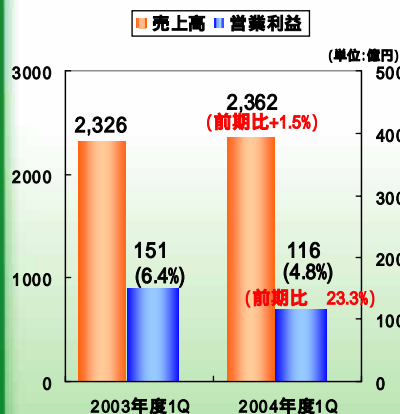
## 事業別セグメント情報

FUJIFILM

### ドキュメントソリューション

売上高・営業利益

売上構成比



\*セグメント間取引消去後

15



## 事業別セグメント情報

FUJIFILM

### オフィスプロダクト



- デジタルカラー複合機が国内で高成長を持続。
- 知的複合機「DocuCentre Color 新シリーズ」が引き続き好調に推移。
- デジタルカラー複合機の販売台数が国内で約5割増、ワールドワイドでは約3割増加。

#### 国内オフィスプロダクト主力製品

デジタルフルカラー複合機  
「DocuCentre Color」新シリーズ  
「DocuCentre Color f450 / f360 / f250」  
「DocuCentre Color a450 / a360 / a250」



16

## 事業別セグメント情報

FUJIFILM

### オフィスプリンター



- 海外での販売 / 海外への輸出が好調に推移。
- 販売台数ベースで、欧米向け輸出が前期比約35%増、アジア・オセアニアでの販売は倍増。国内では約10%減も、ワールドワイドでは、約15%増。

#### 国内オフィスプリンター主力製品

カラーレーザープリンター  
「DocuPrint C2426」



17

## 事業別セグメント情報

 FUJIFILM

### プロダクションサービス



- デジタルカラー印刷システムの欧米輸出台数が倍増。
- 高速・高精細のフルカラーオンデマンド印刷システム「DocuColor iGen3」の営業活動を6月より国内で開始。

### オフィスサービス



- ドキュメントアウトソーシングビジネスが伸長。
- 中小規模事業所向けのインターネット環境提供サービス「beat」の売上が増加。

#### プロダクションサービス主力製品



Color DocuTech 60 V

DocuColor iGen3 Digital Production Press



18

## 2004年度 連結業績見通し

 FUJIFILM

### ■ 中間期

(単位:億円)

	今回発表		4月30日発表時点		増減額	%
売上高	100.0%	13,100	100.0%	13,100	-	-
営業利益	7.3%	960	6.3%	830	+130	+15.7
税引前利益	6.9%	900	5.9%	770	+130	+16.9
当期純利益	3.6%	470	3.1%	410	+60	+14.6
為替:						
USD/円		108円		108円	-	-
ユーロ		128円		128円	-	-

### ■ 通期

	今回発表		4月30日発表時点		増減額	%
売上高	100.0%	26,800	100.0%	26,800	-	-
営業利益	6.1%	1,640	6.1%	1,640	-	-
税引前利益	5.7%	1,540	5.7%	1,540	-	-
当期純利益	3.1%	825	3.1%	825	-	-
為替:						
USD/円		108円		108円	-	-
ユーロ		128円		128円	-	-

19

## 【VISION75】進捗状況

FUJIFILM

### 新たな成長戦略の構築 - 将来を担う新規事業の創出 -

#### ■ R&Dの取り組みと成果

##### ■ 研究開発体制の大幅刷新

- 将来を担うコア技術の研究を行う「コーポレートラボ」の新設。

自動核酸抽出システム  
QuickGene-800



##### ■ 新規事業の育成

- ライフサイエンス分野：自動核酸抽出システム「QuickGene-800」を製品化。
- 産業用デジタルイメージング分野：プリント基板用デジタル露光システムの開発。

「プリント基板用デジタル  
露光システム」



#### ■ M&A・他社とのアライアンス強化

##### ■ オセアニア地域における販売代理店「Hanimex Australasia」の買収

##### ■ ベンチャー企業への出資

- 有機ELディスプレイの分野において技術を有する「Vitex Systems」に出資。
- 医療画像をはじめとした画像処理に優れる「TeraRecon」に出資。

##### ■ 「富士フイルム事業開発ファンド」の設立(総予算200億円)

20

## 【VISION75】進捗状況

FUJIFILM

### 経営全般にわたる徹底的な構造改革

#### ■ 国内販売体制の流通・販売構造改革

##### ■ イメージング部門における体制再編

- 2004年10月：富士フイルムイメージングを設立。
- 現在：写真関連大手4特約店と、当社製品の営業譲り受け協議を進行中。

##### ■ インフォメーション部門における体制再編

- 2004年4月：富士フイルムメディカルと千代田メディカルを合併。

- 流通プロセスの簡素化

- 物流拠点の統廃合

- 販売・流通機能の重複排除

- 流通・販売コストの削減

- 人員スリム化によるコスト削減

2006年度トータル  
100億円以上の  
コストダウン効果を創出

#### ■ 富士ゼロックスにおける組織・整員改革

##### ■ 2004年4月：社内カンパニー制を廃し、事業部制に移行。組織数を約4割削減。

##### ■ 組織改編とともに、役職数を削減。

##### ■ 早期退職制度、転進支援制度設定による人員スリム化。

→ これらの構造改革の実施により、総人件費の抑制を推進

21

## 【VISION75】進捗状況

### 連結経営の強化

- EVAによる連結マネジメントシステムの導入。
- グループ主要案件事前承認ガイドラインの設定。
- 2004年4月：CSR推進部を設立。
  - コンプライアンス&リスク管理部、環境・品質マネジメント部を下部組織として一体的な推進により、内部統制体制を強化。
- キャッシュ・マネジメント・システム(CMS)を秋より導入。
  - 富士フィルムグループにおける資金調達を効率化し、外部借入を削減。

#### ご参考

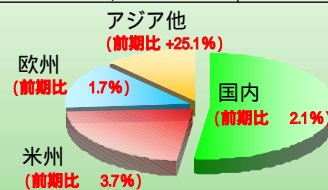
- 当社CSRに関する外部の評価
  - CSRランキング 第9位 (日経ビジネス)
  - 品質経営度調査 第5位 (日本経済新聞社と日本科学技術連盟)

## 参考データ

### 国内・海外別売上高

(単位：億円)

	2004年度第1四半期		2003年度第1四半期		増減 %
	構成	金額	構成	金額	
国内	50.5%	3,091	51.9%	3,157	-2.1
海外					
米州	21.8%	1,333	22.7%	1,383	-3.7
欧州	14.2%	869	14.5%	884	-1.7
アジア他	13.5%	825	10.9%	660	+25.1
計	49.5%	3,027	48.1%	2,927	+3.4
合計	100.0%	6,118	100.0%	6,084	+0.5



参考データ



所在地別セグメント情報

(単位:億円)

		2004年度		2003年度		増減	
		第1四半期		第1四半期		増減額	%
日本	売上高		4,565		4,555	+10	+0.2
	営業利益	5.9%	271	8.3%	376	-105	-27.8
米州	売上高		1,165		1,228	-63	-5.1
	営業利益	3.5%	41	4.6%	56	-15	-27.1
欧州	売上高		706		730	-24	-3.3
	営業利益	5.1%	36	4.4%	33	+3	+11.8
アジア他	売上高		686		605	+81	+13.4
	営業利益	4.7%	33	4.5%	27	+6	+20.4
消去	売上高		-1,004		-1,034	+30	-
	営業利益		18		-21	+39	-
合計	売上高		6,118		6,084	+34	+0.5
	営業利益	6.5%	399	7.7%	471	-72	-15.2

24

参考データ



設備投資、減価償却費、研究開発費

(単位:億円)

	2004年度		2003年度	
	第1四半期	(予)	第1四半期	
イメージング	88	-	125	491
インフォメーション	120	-	127	827
ドキュメント	39	-	46	289
設備投資	247	1,600	298	1,607
イメージング	144	-	151	594
インフォメーション	131	-	140	549
ドキュメント	135	-	134	583
減価償却費	410	-	425	1,726
有形固定資産の減価償却費	286	1,250	303	1,246
研究開発費	411	1,800	402	1,733
<売上高比>	6.8%	6.7%	6.6%	6.8%

ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

25

## 参考データ



### 為替

(単位:円)

	2004年度		2003年度				
	1Q	(予)	1Q	2Q	3Q	4Q	
米ドル	110	108	119	118	109	108	113
ユーロ	132	128	133	133	130	133	132

### 期末人員

(単位:名)

	2004.6.30	2004.3.31	2003.6.30
単独	9,432	9,363	9,399
連結	74,726	73,164	73,548

26



富士写真フイルム株式会社  
コーポレートコミュニケーション部 IR室  
<http://www.fujifilm.co.jp/>